

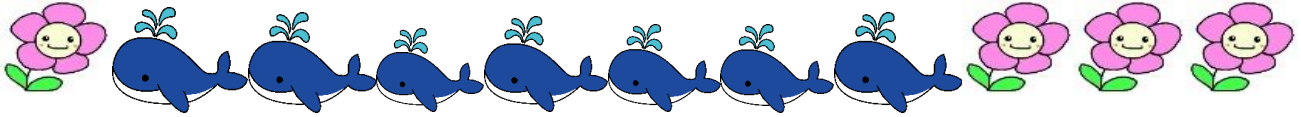
島のひろば No.25

2021年 6月20日

日本共産党

新島支部・式根島支部

発行 綾とおる 7-0381



綾とおる議員 6月議会報告

令和3年第2回定例会(6月10日~11日) =

<コロナ対策事業者支援補正予算等を可決>

○コロナ対策 ①事業者支援

<綾議員> コロナ禍で苦境にあえぐ事業者に対する支援が必要です。売上30%減少をも対象にした第2弾の持続化給付金を、ただちに実施するよう国や東京都に強く要望すべきです。

<村長> 令和3年に入ってから支援策は、一部事業者に特化するものになっており、今まで国などの支援の対象外の方がたくさんいました。村の独自支援策として、地方創生臨時交付金を活用し、観光関連事業者への協力金支給を進めます。ICT活用販路拡大事業、キャッシュレス化推進事業を進めます。国・都への要請を取り組みます。 ○○○○

②介護施設、帰島者に対するPCR検査を

<綾議員> 離島ゆえ、水際対策が重要です。今後感染力の強い変異株が主流になるとされています。感染拡大を防ぐため、帰島後の適切な時期に、希望者に対する検査をして、無症状感染者を把握し、保健所とも連携した陽性者への保護が必要です。

<村長> 介護施設は事業者の判断。帰島者の検査は、現状の医療体制では困難です。 ◇▽○□△●○□◇

③ワクチン接種について

<綾議員> ワクチン接種は安全・迅速に進めてほしい。12~16歳の対象者にどう対応するか、キャンセルが出た時の扱いは、公平・公正・透明でなければなりません。

<村長> 新島地区は、65歳以上の接種を7月末まで、基礎疾患を有する方、高齢者施設の従事者、64歳から60歳を8月中旬まで、8月から59歳以下の接種をはじめ、9月下旬に希望する住民の2回目接種を完了予定です。式根島地区は、6月、7月に12歳以上の対象者の接種を一斉に行います。キャンセル対応は、次回予定者を繰り上げています。





かけがえない村民のいのちを守る村政を！



○ 都立病院の独法化をやめ医療体制の充実を求めます

<綾議員> コロナ対策は、都立病院抜きに語れません。都立病院の役割は、不採算であっても、救急や島しょ医療などの「行政的医療」を提供することです。独法化は「企業的経営手法」による運営が大原則で、不採算部門は切り捨てられます。村長は、2018年12月議会で、当時の議員質問に、「…民営化しないでとの意見は続けて言っていく…」と答弁しています。村民の代表として「都立直営で存続を」と声をあげるべきです。

<村長> 独法化については賛否両論あります。島しょ医療は、都立病院の重要課題の一つで、どのような経営の在り方でもそれは変わらないとの言葉を信じ、村民の不利益にならないよう、都と連携を図っていきます。



《「コロナ対策・観光関連事業者特別協力金」》
(3600万円)を決定！
観光事業と密接な関係にある事業を営み、
本年4、5月の売上合計が、一昨年同月と比
べ、30%以上減収の場合、20万円を支給。
※(7月上旬に1回目の支給予定)



式根島ワクチン接種会場

補正予算可決(1900万円)

発熱外来用コンテナ等

診療所特別会計補正予算では、感染症対策事業として、「発熱外来用コンテナ(2基)」、「ビデオインチュベーション(喉頭鏡)」の設置、購入が可決されました。いずれも、感染拡大を防止し、医療スタッフのリスクを低減するためのものです。



南海トラフ地震、津波対策の具体化を！

<綾議員> 台風災害後、避難所の装備・備品は大きく改善されました。南海トラフ地震では、新島の最大津波高は30メートルを超え、前浜地域は15~16メートルの津波が想定され、港湾施設、発電所、汚水ポンプ場などがあり、村民生活に甚大な被害が予想されます。防災無線の役割は重要です。防災無線の改善を！

<村長> 各施設をピンポイントに検証した被害想定はしていない。西側沿岸部の被害は甚大です。汚水ポンプ場停止の場合、直接投入など対応を準備しています。村有以外の施設に関して被災した場合でも、業務を継続できるよう啓発していきます。防災無線について、本村、式根島の「聞こえない地域」を確認し対応します。

「ふれあいバス」の運行早期改善を！ 利便向上のため～住民要望切実！

<綾議員> 村内唯一の公共交通機関の「ふれあいバス」は、村民の足として重要な役割を果たしています。住民、自治会からも要望が強い、飛行機と連絡船にしきとの接続を求めます。

<村長> 必要なワクだと思いますが、現状では対応は無理と考えます。コロナが収まったら再度検討いたします。